

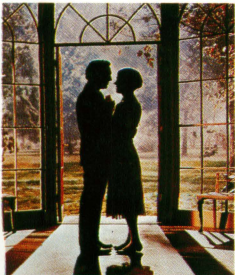
心にひろがる青春の輝き
 あの美しい愛と感動がふたたび
 あなたの胸によみがえる!



製作・監督 ロバート・ワイズ
 ロジャー・ハマースタインの

サウンド・オブ・ミュージック

70mm
 デラックスカラー



アカデミー主演女優賞(1964)に輝く
 ジュリー・アンドリュース
 クリストファ・プラマー
 エリノア・バーカー ■ リチャード・ヘイドン
 シャーミアン・カー 始め7人の子供たち
 オリジナル・サウンドトラック(RCALレコード)
 作曲 リチャード・ロジャース
 作詞 オスカー・ハマースタインII
 脚色 アーネスト・リーマン



アカデミー作品賞
 アカデミー監督賞
 アカデミー編曲賞
 アカデミー録音賞



〈オリジナル・サウンドトラック盤〉RCAレコードより発売中!



★スタッフ

製作・監督……………ロバート・ワイズ
 脚色……………アーネスト・リーマン
 原作……………ロジャー・ハマースタインの
 ミュージカルより
 作曲……………リチャード・ロジャース
 作詞……………オスカー・ハマースタインII
 編曲・指揮……………アーウィン・コスタル
 オリジナル・サウンドトラック盤レコード
 RCAレコード
 撮影……………テッド・マッコード

★キャスト

マリア……………ジュリー・アンドリュース
 フォン・トラップ大佐……………クリストファ・ブラマー
 男爵夫人……………エリノア・パーカー
 マックス・デトワイラー……………リチャード・ヘイドン
 修道院長……………ベギー・ウッド
 長女リースル……………シャーマン・カー
 他6人の子供たち
 《上映時間=2時間50分》



★ジュリー・アンドリュース来日で「サウンド・オブ・ミュージック」ブーム再燃!

さる二月十八日、ジュリー・アンドリュースが二度目の来日で日本公演をし大反響を呼び、「サウンド・オブ・ミュージック」ブームがふたたび巻き起こりました。いまや知らない人はいないほど世界で愛唱されている「ドレミの歌」は、またまた日本のすみずみまで響きリバイバルを熱望する葉書が山のように寄せられました。

この映画は「風と共に去りぬ」と並ぶ永遠不滅の名作で、全米で七千九百万ドルの配収をあげた大ヒット作。いつの時代、何處見ても、これこそ映画のなかの映画、アメリカ文化最高の財産でした。

殺伐でシヨッキングな映画がはららんする今日、この力強いヒューマニズムと健全性はあらためて万人の心を洗うすがすがしさを、一般家庭の父兄、またこの名作を知らないヤング、子供たちに求められ、あらためてこの作品の偉大さが再認識されています。

ほら、あのメロディが聞こえてくるでしょう。さあ、いっしょに歌いましょう!

★大劇場の大作と立体音響でこそ味わえるこの興奮! この感激/生涯忘れぬ世紀の名作!

開巻、大俯敢のヘリコプターによるカメラがアルプスの山々をなめるようにとらえ、ジュリーの歌う「サウンド・オブ・ミュージック」の透きとおった美声が聞こえてくる場面から、これは大劇場の大作で見てこそ初めて真価を発揮する名作でした。

アカデミー作品賞をはじめ、監督賞、編曲賞、録音賞、編集賞に輝いたこの作品は、「ウエストサイド物語」の名匠ロバート・ワイズの最高傑作でもあります。ことにジュリーは一世一代の名演技で、心暖まるやさしさ、清潔さは、生涯忘れぬ感銘を残します。

ミュージカル・ナンバーは十一曲——すべていまや名曲となって愛唱されていますが、あなたの好きな曲は、やっぱリ「ドレミの歌」? それとも「エーデルワイス」? :

ザルツブルグ郊外の尼僧院で修業中のマリア(アンドリュース)は、家庭教師としてトラップ大佐(クリストファ・ブラマー)の家にやってきました。母を亡くした七人の子供たちは、たちまちマリアが好きになります。

激しい雷雨に子供たちがこわがれば、「私のお気にいり」を歌ってマリアは勇気づけます。大自然に「けこみ」を歌ってマリアは勇気づけます。大自然に「けこみ」を歌ってマリアは勇気づけます。十分間にわたる劇中、最高場面に胸ときめかせます。

★マリアの純愛/愛と勇気のヒューマニズムはすべての人に微笑と涙を……

軍人でコチコチに固い大佐は、マリアの教育法が気に入らません。でも、故国の花エーデルワイスを愛し、家族を愛した大佐はマリアによってすっかり暖かな家庭がcaえつてきたことを知り、「エーデルワイス」を一緒に歌います。心暖まる名場面をもう一度!

子供たちはマリアと人形劇で「ひとりぼっちの山羊飼」を歌い、ほほえましい場面を展開します。

大佐の婚約者である男爵夫人(エリノア・パーカー)を迎えのパーティーでは、「さよなら、ごきげんよう」が歌われます。

大佐への愛に気づいたマリアは、夫人との結婚をこわしたくないため、一人さびしく修道院へ帰るのですが、大佐とマリアが踊る「何かいいこと」は、ロマンティックな名曲です。ナチスへの迎合も時代ゆえにやむをえないという男爵夫人の思想を許せない大佐は、マリアの純愛に気づき、婚約を破棄してマリアと晴れて結ばれます。壮麗な結婚式で尼僧たちに祝福されて歌われる「マリア」の美しい旋律、ジュリーの清楚な美しさが最高!

★感動のラスト・シーン/そしていまマリア夫人は? 大佐は?……

大佐は、愛する祖国がナチスによってふみにじられるのに抵抗し、家族と共にスイス国境を越えて国外へ逃亡します。サスバンスとスリルにあふれたクライマックス。すべて山の登れ、「共にドラマは、一家の勇気とヒューマニズムを高らかに謳い最高潮に……」

ところでマリア夫人は、現在75才でカナダとの国境に近いバーモント州の山村でスキーロッジを経営していることがわかりました。大佐は47年に死去。キム・カラス演じる一番小さいかわいい女の子グレルトともう一人のお嬢さんは、アメリカ力に来てまもなく亡くなり三人のお墓はロッジの裏にあるそうです。それを知ってキムを見ると涙があふれてきます。米国に来て生まれたお子さんをふくめて十人。五人は結婚され、孫が三十人、ひ孫が七人という大家族。ファミリア愛に支えられてマリア夫人は健在です。

南太平洋の夢の島ボラボラ島で長期ロケ!
 トロピカル・ロマンの名作誕生/少年とサメの友情を描くファミリア・ピクチャー!
少年と鮫 近日大公開

5月17日(土) 70MMニュープリント リクエストロードショー
 東京音協6月例会作品《音協会員に限り880円》

有楽町日劇 (201) 2111
 上 蘭 連 日 11:30 2:50 6:10